

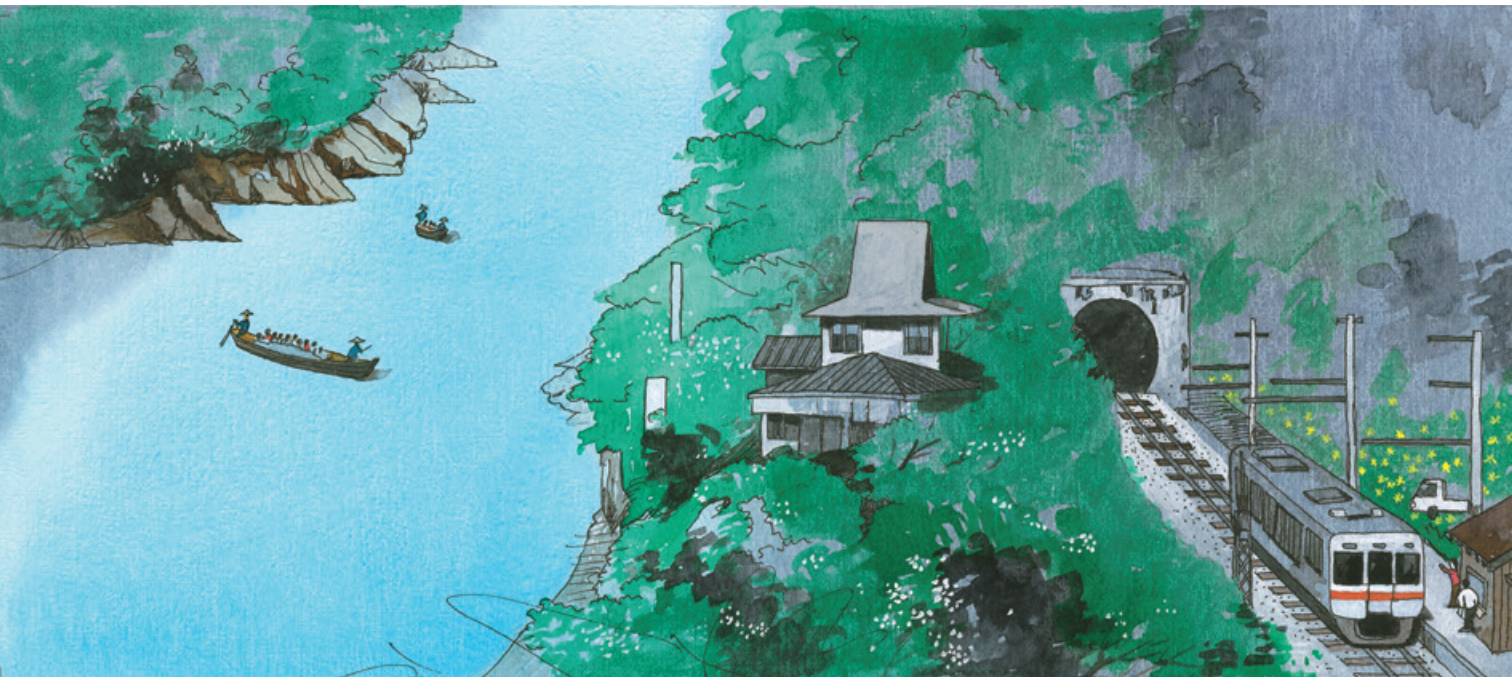


第91期 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

KOA株式会社

証券コード：6999



KOAからのメッセージ

私たちは、「循環・有限・調和・豊かさ」を
企業経営の価値観に置いています。

創業のビジョン

「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、ひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

企業ミッション

KOAを支える「5つの主体」との信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのお縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。

企業経営の価値観

「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あつての人類、人あつての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人とのご縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第91期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

2019年1月、長野県伊那市の西山工場に新工場棟が竣工しました。KOA本社が所在する「KOAパインパーク」から車で約10分、背後に中央アルプスの経ヶ岳が聳え、正面に伊那谷を挟んで南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳などの秀峰を望む景観の地で、KOAの国内生産を代表する工場の一つです。

当社は2012年に長野県下伊那郡阿智村に「七久里の杜（もり）」工場、13年に上田市真田に子会社である真田KOA株式会社が「真田の郷（さと）」工場、16年にパインパークに隣接して、研究開発拠点である「West Wing」と物流拠点の「South Wing」、そして今回の西山工場新棟と、相次いで拠点を新設してきました。これは抵抗器専業メーカーとして培ってきた技術を磨き、お客様によりご信頼いただける製品を日本でのものづくりから生み出していくために不可欠な投資と考えています。

KOAが抵抗器において得意とする「高精度・高信頼性」は、いうまでもなく現在の電子技術を取り巻く流れに欠かせません。IoTの進展に伴い、サイバー空間へのデータの入り口となるセンサーは、一説では今後地球上の全人類が1年間に1人約150個を使うそうです。その数ざっと1兆個。「トリリオン（兆）・センサー社会」が到来しているのです。西山工場が生産を担う「薄膜チップ抵抗器」は、センサー

コープ KOA株式会社

代表取締役社長

花形 忠男



からの微弱な信号を精度よく増幅しマイコンに送る増幅回路に不可欠の電子部品です。

KOAはこれを1988年に生産を開始以来、需要の増加が見込める車載向けになんとかお使いいただくよう地道な改良を続けてきました。その結果、温度変化に対する抵抗値変化や長期間使用時の抵抗値変化が極めて小さいという「高精度・高信頼性」のご評価をいただき、特に自動車の電動化や自動運転、工作機械、医療・福祉分野、インフラ管理など絶対に誤動作が許されない分野で、多くの受注をいただいています。西山工場新棟の効果で、薄膜チップ抵抗器の生産能力は2025年においては、17年度比倍増できる予定です。

これ以外にも培ってきた薄膜技術を使った、傾斜センサーや水素センサーなどの各種センサー開発にも注力するとともに、センサーからの信号処理を行う回路を一体化した「センサーモジュール」の開発も行うなど、来るべき“高度センシング社会”の基盤を支える製品や技術の創出に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

営業の概況

2018年度の実績

経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、米国では個人消費の増加や雇用情勢の改善、堅調な企業業績などを背景に、緩やかな拡大基調が続きましたが、アジアでは中国において過剰債務の削減に伴う投資減速、米中貿易摩擦の影響による個人消費の減速傾向など景気の減速が鮮明となりました。また、欧州では製造業を中心とした企業業績の悪化等により減速傾向となるなど、全体として景気の回復が弱まってきております。我が国経済では個人消費の緩やかな回復や、設備投資の増加等により企業業績の改善が進みましたが、世界景気の回復力が弱まっていることから輸出・生産が弱含んでおり、全体として景気は横ばいで推移しました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、電子化の進行により自動車関連市場が拡大しており、自動車向け等が好調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めるとともに、将来に向けた研究開発投資や堅調な需要に対応するための設備投資を増加させてまいりました。

販売面におきましては、主に日本・中国の自動車向けに売上が増加したこと等により当連結会計年度の売上高は558億95百万円（前年同期比33億79百万円増、6.4%増）となりました。

利益面におきましては、高付加価値製品の売上増加およびコストダウンに努めましたが、人件費・減価償却費等の固定費が増加したこと等により営業利益は56億70百万円（前年同期比80百万円減、1.4%減）、経常利益は為替差益の増加等により63億4百万円（前年同期比4億64百万円増、8.0%増）、また、米国における集団民事訴訟の原告との和解に伴う解決金として48億6百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は10億18百万円（前年同期比33億59百万円減、76.7%減）となりました。

財政状態の概況

当連結会計年度の当社グループの資産は、有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末と比べて96百万円増加し、当連結会計年度末は773億55百万円となりました。

当連結会計年度の負債は、支払手形及び買掛金、未払金等の増加により、前連結会計年度末と比べて11億52百万円増加し、当連結会計年度末は175億15百万円となりました。

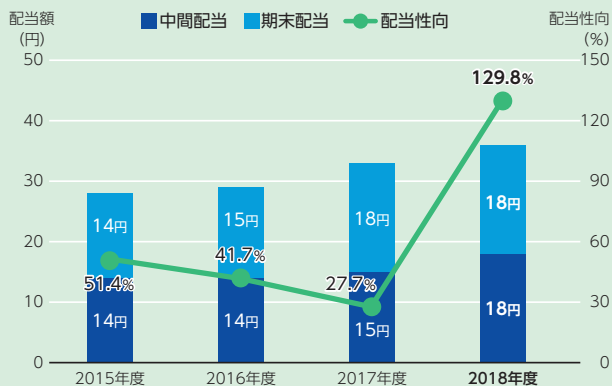
当連結会計年度の純資産は、利益剰余金、有価証券評価差額金等の減少により、前連結会計年度末と比べて10億55百万円減少し、当連結会計年度末は598億39百万円となりました。

キャッシュ・フローの概況

当期は前述いたしましたような状況により14億35百万円の税金等調整前当期純利益となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは減価償却費および仕入債務の増加などにより21億46百万円の流入を確保することが出来ました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出55億43百万円などにより42億61百万円の資金の流出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払などにより12億94百万円の流出となりました。

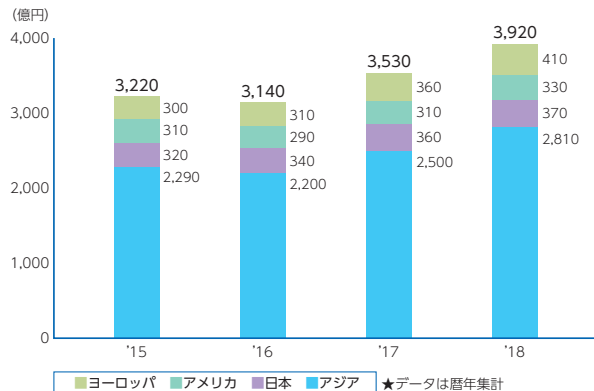
これらの結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ34億80百万円減少し、139億93百万円となりました。

1株あたりの配当額・配当性向・DOE(自己資本配当率)の推移

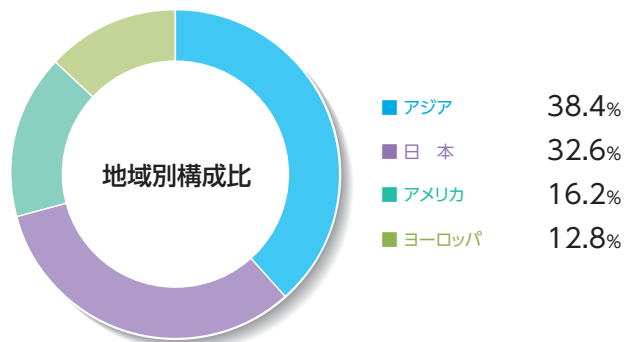
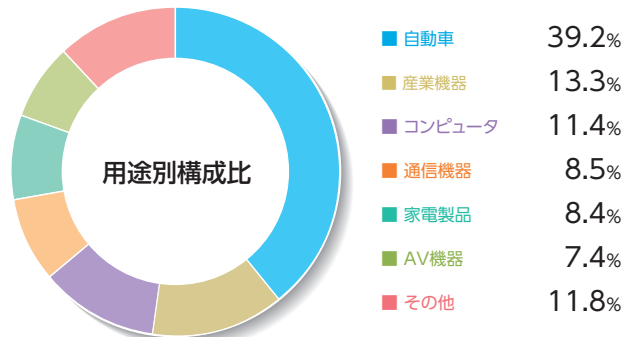
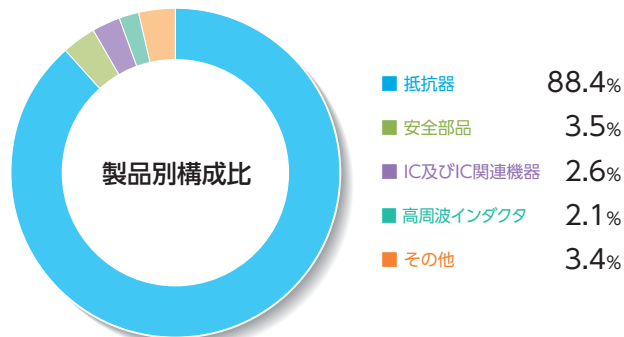


	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
年間配当	28円	29円	33円	36円
配当性向	51.4%	41.7%	27.7%	129.8%
DOE (自己資本配当率)	1.8%	1.9%	2.1%	2.2%

地域別固定抵抗器需要 (当社推定)

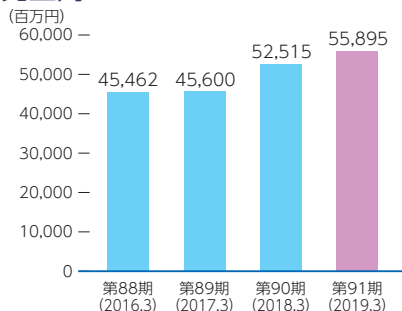


売上高構成比

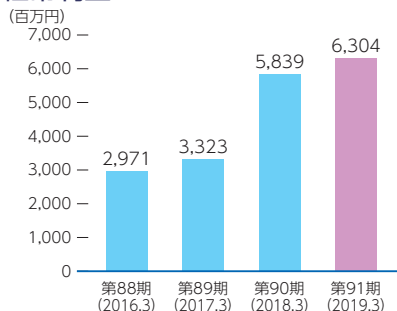


連結決算の概要

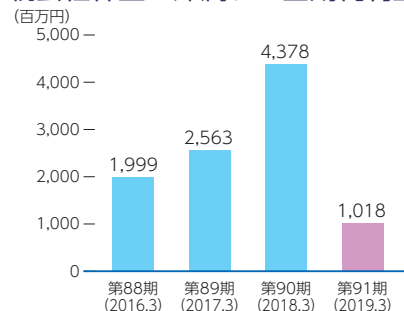
売上高



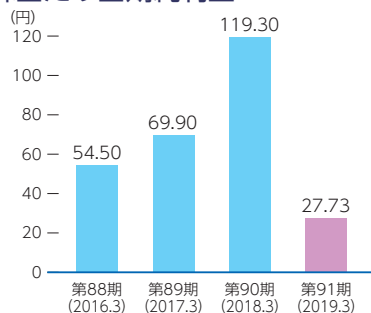
経常利益



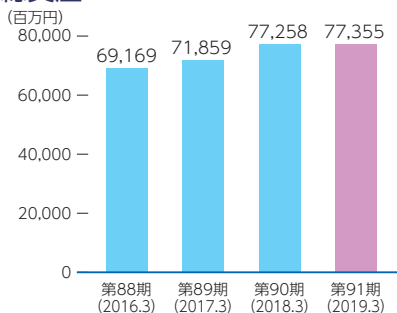
親会社株主に帰属する当期純利益



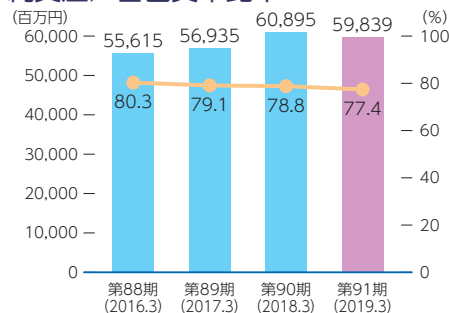
1株当たり当期純利益



総資産



純資産／自己資本比率



※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の数値については、当該会計基準等を遡って適用しております。

次期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、全体として景気は減速傾向にあり、中国における過剰債務問題や不動産価格変動による経済の減速懸念、米中貿易摩擦、英国の合意なきEU離脱、また中東情勢等の地政学リスクの高まり等による、世界経済への下振れ影響により、世界景気の先行きの不透明感は引き続き高いものと考えられます。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、次期の受注動向に対しては慎重な見方が必要であります。利益面においても、原材料価格の上昇、為替変動等の懸念材料があります。

このような状況を踏まえ、当社グループは、今後も抵抗器専業メーカーとして車載、産業機器、医療、環境・エネルギー等、今後の技術革新で成長が期待できる分野と、品質と信頼を重視する分野にフォーカスし、お客様のご期待にお応えしてまいります。

具体的には、技術革新等により今後の拡大が期待される市場において、技術提案活動等の強化によって高付加価値製品の販売比率を向上させることで事業構造の改革を進め、業績向上に努めてまいります。さらに、桁違いの品質を求められる市場での競争優位性を確保するため、引き続き「ゼロディフェクト・フローの構築」を全グループの目標に掲げ、品質・信頼性向上の活動を進めてまいります。併せて、生産性の大幅な向上を目指した改善活動と経費削減活動の継続により、収益性の向上を図ってまいります。

また当社グループは、研究開発型企業を目指して、世の中の変化、お客様の要求に柔軟に対応し、お客様と共に安心・安全な未来を創る活動を進めており、それに必要な投資も先行的に行っております。

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2019年3月31日現在	前連結会計年度 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	39,445	42,340
現金及び預金	15,197	18,785
受取手形及び売掛金	13,616	13,527
有価証券	200	1,766
たな卸資産	7,622	5,873
その他	2,853	2,424
貸倒引当金	△ 44	△ 36
固定資産	37,910	34,918
有形固定資産	28,301	25,056
無形固定資産	556	481
投資その他の資産	9,052	9,380
資産合計	77,355	77,258
(負債の部)		
流動負債	13,582	12,339
支払手形及び買掛金	4,839	4,601
短期借入金	221	212
その他	8,522	7,525
固定負債	3,933	4,022
長期借入金	217	281
その他	3,715	3,741
負債合計	17,515	16,362
(純資産の部)		
株主資本	59,219	59,486
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,195	9,185
利益剰余金	46,706	47,043
自己株式	△ 2,715	△ 2,775
その他の包括利益累計額	620	1,409
その他有価証券評価差額金	1,803	2,217
為替換算調整勘定	△ 846	△ 557
退職給付に係る調整累計額	△ 336	△ 250
純資産合計	59,839	60,895
負債純資産合計	77,355	77,258

連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 自：2018年4月1日 至：2019年3月31日	前連結会計年度 自：2017年4月1日 至：2018年3月31日
売上高	55,895	52,515
売上原価	37,894	34,879
売上総利益	18,000	17,636
販売費及び一般管理費	12,330	11,885
営業利益	5,670	5,750
営業外収益	783	658
営業外費用	149	569
経常利益	6,304	5,839
特別利益	3	3
特別損失	4,872	47
税金等調整前当期純利益	1,435	5,795
親会社株主に帰属する当期純利益	1,018	4,378

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 自：2018年4月1日 至：2019年3月31日	前連結会計年度 自：2017年4月1日 至：2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,146	5,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,261	△ 4,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,294	△ 1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 115	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,524	△ 449
現金及び現金同等物の期首残高	17,474	17,923
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	44	—
現金及び現金同等物の期末残高	13,993	17,474



詳しい財務情報はWebサイトのこちらでご覧いただけます

KOA IR

検索

電子機器の設計支援情報をお客様に提供開始



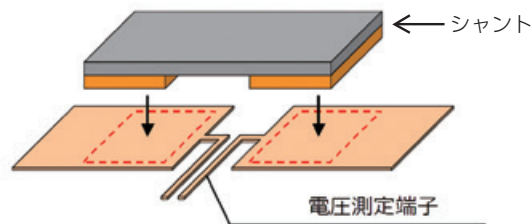
最近のお客様は電子機器などの開発期間短縮および信頼性向上のために、開発の初期段階において、様々なシミュレーターを用いて解析を行います。シミュレーションで解析をするには、電子部品の適した使用方法やシミュレーションで使うモデルのデータが必要となります。このため、KOAはホームページで設計支援ツールとして、お客様から要望が強かったシャント（電流検出用金属板低抵抗器）製品に適した使い方の技術情報「テクニカルノート」や、部品の発熱状況を解析する熱流体シミュレーター用にKOA抵抗器のシミュレーションモデルの提供を開始しました。これにより、お客様が安心してKOA製品をお選びいただけるようになったと自負しています。

今後もシャントのみならず様々な製品についての設計支援情報の提供を充実させてまいります。

シャント テクニカルノート

KOAのシャントに適した方法で使っていただくために、様々な使用状況での注意点をまとめました。言語は日本語、英語、中国語に対応しています。

抵抗値が非常に小さいため、正しく電流検出を行うには、シャントの持つ性能を発揮できる正しい使い方をしていただく必要があります。このテクニカルノートは、お使いいただく際に見落とされがちな注意点について、設計いただく方が理解しやすくなるように図解を用いて詳しく説明しています。



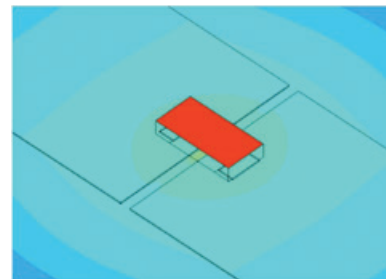
例 シャントの推奨する電圧測定位置

熱流体シミュレーター用モデルデータ

昨今の電子機器は、小型・高性能化により、回路基板上に数多くの電子部品が高密度で配置されています。そのため、電子部品の発熱により機器内部の温度が高くなることから、正しい動作のために熱設計も重要となってきており、お客様は発熱状況を見ることができる熱流体シミュレーションで熱解析を行うことが多くなっています。

そこで当社は、熱流体シミュレーター用にKOA抵抗器のシミュレーションモデルの提供を開始しました。このモデルを使うことにより、お客様は精度良く電子部品の発熱状況を解析することができ、お客様の製品に適した熱設計が可能となります。

当社の保有する熱解析技術に磨きをかけることで、より精度の高いモデルデータの提供を可能にしました。

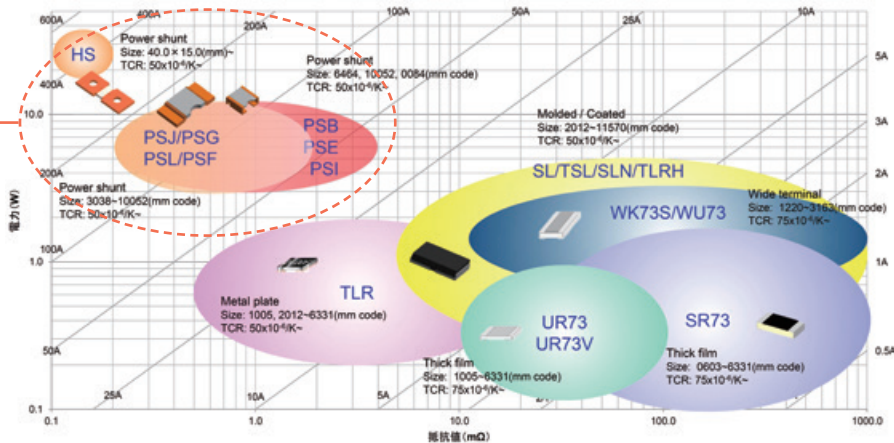
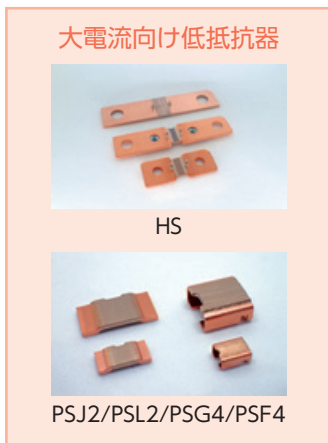


熱回路網モデルを使った解析結果イメージ

電流検出用低抵抗器のラインアップ拡充

低抵抗器を用いた電流検出は、20年程度前にノートパソコン用バッテリーの残量監視や、パソコンやゲーム機のマイコン用電源の制御回路で大きな需要が生まれ、昨今は自動車の電動化に伴い車載用モーターの制御回路での需要も拡大するなどいろいろな機器で使われています。

KOAはお客様の要求にお応えしながら新製品を開発しラインアップを拡充してきており、近年は自動車や産業機器に注力し大電流検出向けに新製品を提供しています。



国内拠点紹介

西山工場 新工場棟 (2019年1月竣工)



新工場棟 (右) と既存棟 (左)

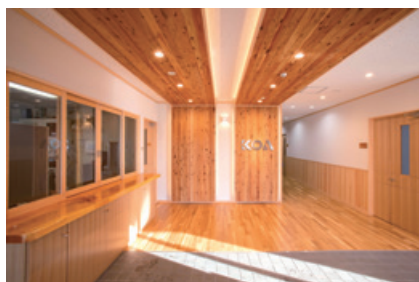
KOAの主力工場の一つである西山工場(長野県伊那市)は、主力製品の薄膜抵抗器を生産しています。KOAは、需要が拡大している薄膜抵抗器の増産体制を構築するとともに、イーストウイング工場(長野県上伊那郡箕輪町)に分かれている後工程統合による生産性、収益性の向上を目的として、西山工場敷地内に新工場を建設、2019年1月に竣工しました。

コンセプトと期待する効果

- イーストウイング工場の後工程を西山工場へ集約し、一貫生産によるムダの廃除と品質リスクの低減。
- 局所クリーンを活用し、環境に配慮したモノづくり。
- 働きやすい環境による従業員の健康維持とモチベーション向上。

■ 概要

従業員数	約60名 ⇒ 約120名 (イーストウイング工場の後工程移設後)
敷地面積	15,395.57㎡ (西山工場全体)
延床面積	3,168.23㎡ (増築分)
建物構造	鉄骨造2階建



お客様用エントランス



アルプスを一望できる応接室・会議室



生産スペース2階

「おてんとうさま」活動

KOA環境方針

出発点 どうしたら地球と調和した生き方ができるのか。

理念 KOAは信州伊那谷に生まれ、育まれてきた企業です。お百姓がお百姓として自らのふるさとで生きていけるようにとの願いで、創立しました。
電子部品の製造に携わりながらも、土と水とおてんとうさまとおつきあいのなかで学び、生きとし生けるものの一人として地球との間に信頼関係を築いていきたいと考えます。
社員一人一人が自分たちをとりまく水系の命の循環に関心を持ち、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を自己責任のもと実践することで、わたしたちのふるさとを舞台に生物多様性を保全し、循環型社会のモデルを創造していきます。

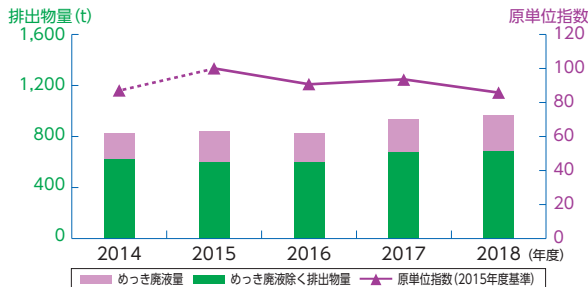
- 方針**
- 一、KOAは、開発・製造・販売活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確にとらえ、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を構築し、「おてんとうさま」の継続的改善及び環境汚染の予防を図る。
 - 一、KOAの環境活動は、社会環境対応を「おてんとうさま」活動とし、製品環境対応を品質保証活動として展開する。
 - 一、KOAの環境側面に適用可能な法規制、KOAが同意するその他の要求事項（お客様要求事項を含む）及び自主基準を順守し、環境マニュアル・品質マニュアルを基に全社員が自然環境に配慮した行動をする。
 - 一、本方針の理念に基づいて行動するため、環境に調和した業務や有限な資源の有効利用、環境負荷の少ない製品・工程、地球温暖化防止（省エネルギー）を追求し実現する環境改善活動を環境目的・目標の枠組みとして、毎年見直しをする。
 - 一、内部環境監査を実施し、自主管理による「おてんとうさま」の維持向上に努める。
 - 一、この環境方針は、KOA及びKOAグループにおいて、環境活動に携わる全ての人に周知し、環境意識の向上を図る。

2013年4月1日

KOA株式会社 代表取締役社長 花形 忠男

「おてんとうさま」活動の成果

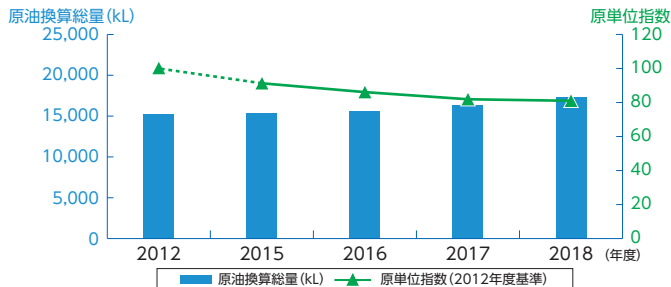
1 有限な資源の有効利用



KOAグループでは、「有限な資源の有効利用・循環利用を追求した事業活動を実現する」を環境目標として設定し、排出物の削減、材料の利用効率向上に取り組んでいます。

2018年度は、工程不良改善の継続的な取り組みに加え、設備の交換部品の長寿命化による消耗部品の削減、材料を使い切れるように器具を改良したことによる廃棄材料の削減、めっき加工の処理量拡大による廃液削減などの取り組みにより、2015年度（基準年）比14%低減することができました。

2 地球温暖化防止



KOAグループでは、「低炭素化を追求した事業活動を実現する」を環境目標として設定し、ユーティリティ設備の計画的更新や工程の運用改善によりエネルギー利用の高効率化に取り組んでいます。

2018年度は、エネルギーの利用状況の見える化を進め、設備の改善ポイントの抽出や、稼働状態の常時監視（電力・稼働データ等）により発見したムダやロスの改善を行いました。これらの活動により設備のエネルギー効率の向上が図られ、2012年（基準年度）比19%低減することができました。

会社概要・株式の状況 (2019年3月31日現在)

会社概要

社名	コーア KOA株式会社 (KOA CORPORATION)
所在地	本社 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウイング TEL: 0265-70-7171 (代表) (登記上の本店) 長野県伊那市荒井3672番地
創立	1940年3月10日 (昭和15年)
資本金	6,033百万円
事業内容	各種電子部品の開発・製造・販売

取締役及び監査役

取締役会長	むかいやま 向山 孝一
代表取締役社長	花形 忠男
常務取締役	深野 香代子
常務取締役	野々村 昭
取締役	百瀬 克彦
取締役	山岡 悦二
取締役	小嶋 敏博
※取締役	マイケル・ジョン・コーバー
※取締役	北川 徹
常勤監査役	五味 正志
監査役	遠藤 和夫
※監査役	かみしゅごく 上拾石 哲郎
※監査役	しげむね 重宗 信行

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	40,479,724 株
株主総数	7,183 名

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部

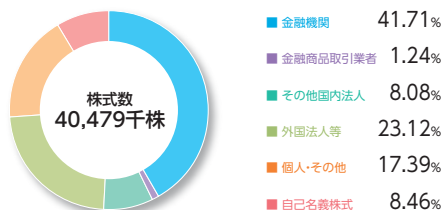
大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,700,700	7.29
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.01
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,767,100	4.77
野村信託銀行株式会社 (投信口)	1,510,600	4.07
株式会社三菱UFJ銀行	1,000,000	2.70
日本電気株式会社	868,333	2.34
三菱UFJ信託銀行株式会社	700,000	1.89
KOA共栄会	695,530	1.87
株式会社小糸製作所	680,350	1.83

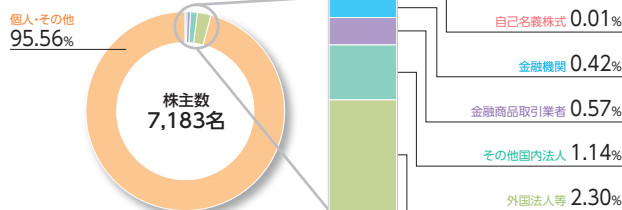
(注) 1. 当社は、自己株式3,425,692株を保有しておりますが、上記には記載しておりません。
なお、自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式276,900株を含んでおりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況

【所有者別持株比率】



【所有者別株主比率】



株式の手続きに関するご案内

●特別口座で株式をご所有の株主の皆様へ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社などの口座管理機関の口座にて電子的に管理されております。株券電子化移行時点で、ご所有の株式を証券保管振替機構（ほふり）に預託されなかった株主様につきましては、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設させていただいております。しかしながら、特別口座の株式につきましては、特別口座のままでは売買ができませんので、特別口座から証券会社口座への振替等をお願いいたします。

▶特別口座に記録されているかどうかのご確認方法について

下記、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

▶特別口座から証券会社口座への振替方法について

特別口座に記録されている株式を市場にて売却される際には、証券口座へ振替のお手続きが必要となります。あらかじめ証券会社に株主様の口座を開設いただき、振替申請を行っていただきますようお願いいたします。

※すでに株主様が証券会社に口座をお持ちの場合は「② → ③」の手順のみとなります。



▶証券会社口座への振替以外に、売買を行う方法について（単元未満株式に限る）

当社は単元（100株）未満株式の買取・買増制度を採用しております。特別口座に記録された単元未満株式について当社へ買取または買増請求を行うことができますので、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、買増請求を行っていただき単元（100株）株式にされても、特別口座では株式の売買ができませんので、証券会社口座を開設され、証券会社に振替えたうえで、単元株式になるようご請求※いただくことをおすすめいたします。

※証券会社口座に振替後のお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にご依頼ください。

買取制度

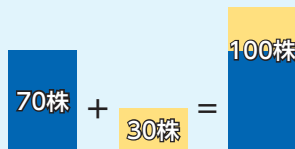
ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入いただく制度です。

《具体例》

株主様が現在70株をご所有の場合、当社を通じて30株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



●お問い合わせ先

特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(窓口によるお取り次ぎについて)

三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店においても受付けております。

本社・技術拠点

本社 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内アースウイング
〒399-4697 ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

経営管理インシシアティブ

経営戦略センター ☎ 0265 (70) 7173
FAX 0265 (70) 7992

総務センター ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

人事教育センター ☎ 0265 (70) 7177
FAX 0265 (70) 7711

知的財産センター ☎ 0265 (70) 7179
FAX 0265 (70) 7712

情報システムセンター ☎ 0265 (70) 7275
FAX 0265 (70) 7276

CSR推進センター ☎ 0265 (70) 7065
FAX 0265 (70) 7994

技術インシシアティブ

☎ 0265 (70) 7175
FAX 0265 (70) 7712

伊那事業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622
FAX 0265 (78) 5266

West Wing 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17
West Wing 〒399-4511

品質保証インシシアティブ ☎ 0265 (73) 9156
FAX 0265 (78) 2128

ハローウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内 〒399-4697

ものづくりインシシアティブ

生産戦略センター ☎ 0265 (79) 1481
FAX 0265 (79) 1409

北九州研究所 北九州市若松区ひびきの2-1
北九州学術研究都市
産学連携センター408号室
〒808-0135 ☎ 093 (883) 8226
FAX 093 (883) 8251

営業拠点

東洋ビジネスフィールド 横浜市港北区新横浜2-13-13
TPR新横浜ビル2F
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1800
FAX 045 (476) 1809

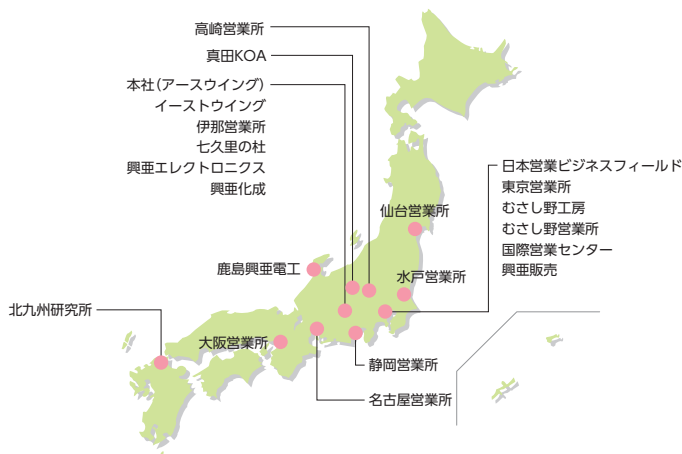
営業支援センター ☎ 045 (476) 1800
FAX 045 (476) 1809

物流センター 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17
South Wing
〒399-4511 ☎ 0265 (76) 9110
FAX 0265 (76) 9138

むさし野工房 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

販売インシシアティブ ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

国際営業センター ☎ 042 (336) 5755
FAX 042 (336) 5353



(各営業所)

仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡2-4-22仙台東口ビル8F
〒983-0852 ☎ 022 (292) 3303
FAX 022 (292) 6606

水戸営業所 茨城県ひたちなか市足崎字西原1445-31
〒312-0003 ☎ 029 (273) 4651
FAX 029 (274) 8824

高崎営業所 群馬県高崎市和田町2-3東邦ビル4F 401号室
〒370-0847 ☎ 027 (320) 8760
FAX 027 (320) 8766

むさし野営業所 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5757
FAX 042 (336) 5353

東京営業所 横浜市港北区新横浜2-13-13TPR新横浜ビル2F
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1820
FAX 045 (476) 1814

伊那営業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622
FAX 0265 (78) 5266

静岡営業所 静岡県駿河区馬淵3-2-25 TKビル5F
〒422-8063 ☎ 054 (282) 5166
FAX 054 (282) 5466

名古屋営業所 名古屋市長区社台3-230グランドビル4F
〒465-0092 ☎ 052 (774) 2821
FAX 052 (774) 2891

大阪営業所 大阪市淀川区西中島7-1-5辰野新大阪ビル6F
〒532-0011 ☎ 06 (6885) 0822
FAX 06 (6885) 6388

西山工場 長野県伊那市西箕輪2445
〒399-4501 ☎ 0265 (73) 7166
FAX 0265 (73) 6112

MINOWAウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 8471
FAX 0265 (79) 7079

中央工場 長野県上伊那郡南箕輪村5061
〒399-4511 ☎ 0265 (77) 3513
FAX 0265 (72) 4397

七久里の社 長野県下伊那郡阿智村春日1088-1
〒395-0301 ☎ 0265 (45) 1711
FAX 0265 (45) 1717

匠の里 長野県飯田市桐林2441-1
〒399-2565 ☎ 0265 (26) 7701
FAX 0265 (26) 7732

国内グループ会社

興亜エレクトロニクス株式会社

長野県下伊那郡阿南町西条733 〒399-1504
☎ 0260 (22) 2261 FAX 0260 (22) 3356

興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田1-7-9VORT秋葉原Maxim3F 〒101-0041
☎ 03 (3255) 5521 FAX 03 (3251) 7648

真田KOA株式会社

長野県上田市真田町長5688-6 〒386-2201
☎ 0268 (72) 3770 FAX 0268 (72) 8231

鹿島興亜電工株式会社

石川県鹿島郡中能登町武部は部11 〒929-1802
☎ 0767 (76) 1111 FAX 0767 (76) 0500

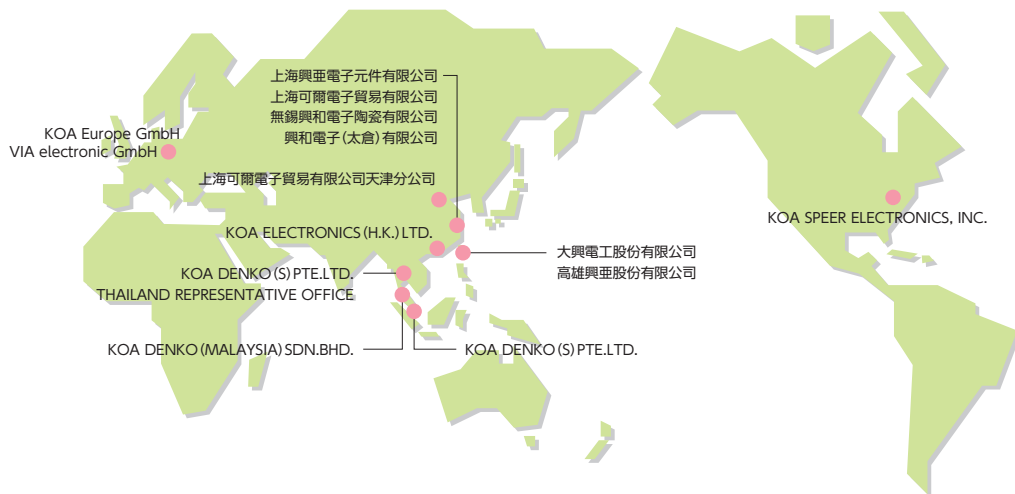
興亜化成株式会社

長野県伊那市御園180-2 〒396-0022
☎ 0265 (72) 7264 FAX 0265 (76) 0006

生産拠点

イーストウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 9080
FAX 0265 (79) 9079

箕輪工場 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8633
〒399-4601 ☎ 0265 (70) 5390
FAX 0265 (79) 8980



海外の拠点

アメリカ/KOA SPEER ELECTRONICS, INC.

199 BOLIVAR DRIVE BRADFORD PA
16701 USA
☎ (1) 814-362-5536
FAX (1) 814-362-8883

ドイツ/KOA Europe GmbH

KADDENBUSCH 6
D-25578 DÄGELING ITZEHOE GERMANY
☎ (49) 4821-89890
FAX (49) 4821-898989

ドイツ/VIA electronic GmbH

ROBERT-FRIESE-STRASSE 3, D-07629 HERMSDORF, GERMANY
☎ (49) 036601-9298-0
FAX (49) 036601-9298-110

マレーシア/KOA DENKO(MALAYSIA)SDN.BHD.

LOT 7,8&9 BATU BERENDAM, FTZ
75350 MELAKA, MALAYSIA
☎ (60) 6-2328031
FAX (60) 6-2313171

シンガポール/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

72 BENDEMEER ROAD #06-28
LUZERNE SINGAPORE 339941
☎ (65) 63395151
FAX (65) 63398556

タイ/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

THAILAND REPRESENTATIVE OFFICE
38 CHALANTTIP BUILDING, 7TH FLOOR
UNIT 7CD, CONVENT RD.,SILOM, BANGRAK,
BANGKOK 10500 THAILAND
☎ (66) 2632-0382
FAX (66) 2632-0903

中国/上海興亞電子元件有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号
☎ (86) 21-64850723
FAX (86) 21-64852960

中国/上海可爾電子貿易有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号
☎ (86) 21-64320101
FAX (86) 21-64320083

中国/上海可爾電子貿易有限公司天津分公司

中国天津市和平区南京路219号天津中心8楼823室
☎ (86) 21-64320101
FAX (86) 21-64320083

中国/無錫興和電子陶瓷有限公司

中国江蘇省宜興市和橋鎮西鋤村向山路1号
☎ (86) 510-87871645
FAX (86) 510-87871626

中国/興和電子(太倉)有限公司

中国江蘇省太倉市太倉經濟開發区洛陽東路77号
☎ (86) 512-53561111
FAX (86) 512-53561600

香港/KOA ELECTRONICS(H.K.)LTD.

UNIT 2315, METROPOLIS TOWER, 10
METROPOLIS DRIVE HUNGHOM,
KOWLOON, HONG KONG
☎ (852) 2492-6918
FAX (852) 2492-7398

台湾/大興電工股份有限公司

中華民國台北市南京東路1段34号平安大樓11樓
☎ (886) 2-25214166
FAX (886) 2-25641859

台湾/高雄興亞股份有限公司

中華民國高雄市楠梓加工出口区開發路17之2号
☎ (886) 7-363-4157
FAX (886) 7-363-4543

年間IRカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
IR説明会	● 期末決算説明会						● 第2四半期決算説明会					
株主総会	● 招集ご通知発送 ● 定時株主総会 ● 決議ご通知発送											
株主通信IRサイト	● 株主通信発送 ● IRサイト更新						● 中間株主通信発送 ● IRサイト更新					
有価証券報告書	● 有価証券報告書			● 四半期報告書(第1四半期)			● 四半期報告書(第2四半期)			● 四半期報告書(第3四半期)		

IRのお問い合わせ先はこちらです

電話：0265-70-7171

FAX：0265-70-7711

KOA株式会社

経営管理イニシアティブ総務センター

ホームページ内「お問い合わせ」

<https://www.koaglobal.com/contact/othersForm>

表紙の絵「唐笠港（からかさこう）」

唐笠港は、天竜の流れに触れんばかりの秘境駅・JR飯田線唐笠駅に隣接し、名勝天竜峡から乗船した天竜ライン下りの終着港です。半崎保道さん一家が昭和35年頃に家業で始めた舟下りは、今や全国から年間12万人もの乗客を呼ぶようになりました。（長野県下伊那郡泰阜村）



絵：今村由男
長野県生まれ。
日本版画協会会員

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.koaglobal.com ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	

（ご注意）

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



www.koaglobal.com